

「モンシロチョウの発音」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

以前「ツキノワグマ」の発音について書いたことがある。「ツキノワグマ」(月の輪熊または月の環熊)は、首の下に白い「三日月型」の模様があるので、この名がある。語義から考えると、「ツキノワ・グマ」と発音されるべきである。「戸隠そば」の抑揚と同じだ。ところが実際には「ツキノ・ワグマ」と発音されている。「讃岐うどん」と同じ抑揚である。NHKにも申し入れたことがあるが、修正されていない。まあ、これは仕方ないことだろう。



「ツキノワグマ」 小諸懐古園の動物園

植物の「クサレダマ」はもっと哀れである。「クサレダマ」は「草麗玉」の意味で、本来は「クサ・レダマ」と発音されるべきである。「腐れ玉」と発音され、美しい姿なのに、非常に悪い印象を与えている。



「クサレダマ」 長野県野辺山高原

同じようなことが、モンシロチョウにも言える。「モンシロチョウ」(紋白蝶)は、「紋が白い蝶」あるいは「白い紋のある蝶」と、大多数の人は思っている。これは、「モンシロチョウ」の発音に原因がある。

「モンシロチョウ」という和名の本当の意味は、「(黒い) 紋がある白蝶 (シロチョウ科の蝶)」ということである。語義から考えると、「モン・シロチョウ」と発音されるのが正しい。同じような抑揚のことがばがなかなか見つからないが、あえて言えば「班、解散」と同じ抑揚だ。ところが実際には「モンシロ・チョウ」と発音されている。これは「後樂園」と同じ抑揚である。これでは「白い紋がある蝶」と誤った解釈をされても仕方がない。



「モンシロチョウとキリンソウの花」 北軽井沢

現在の「モンシロ・チョウ」の発音(抑揚)と解釈が正しくないことは、実際にモンシロチョウを観察すればすぐにわかる。「白い紋」はどこにもなく、白い翅に「有色の紋」がついている。やはり、どう見ても「モン・シロチョウ」である。

実はモンシロチョウは、江戸時代には「黒紋白蝶」と呼ばれていたらしい。誠に蝶の特徴と合致した名称で、これならば発音を間違えることも、和名の解釈を誤ることもなかっただろう。

この「クロモンシロチョウ」の呼び名を復活させたいところがだ、和名の変更は容易ではない。もし復活させたとしても、現在の「モンシロチョウ」の発音の影響で「白い紋のある黒い蝶」と、またもや誤った解釈をされそうだ。